

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 22 日 (18 : 00～19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8 人	2 人		10 人

前回の改善計画

- ・事前に担当職員を割り当てることで、事業所内での情報周知の徹底・ケアの統一を図っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・事業所内での情報共有を図るために、事前に担当職員を割り当てようとしたが、リーダー職員がメインで行っており、勤務体制上タイムラグが生じていた。しかし、情報共有に関しては日々のミーティングを活用することで行うことが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1 人	8 人	1 人		10 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		9 人	1 人		10 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4 人	6 人			10 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4 人	6 人			10 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ミーティングや登録に至る段階で CM から情報提供があり、それを申し送ることで情報の共有をすることが出来ている。
- ・初期利用時は積極的に関わることで、情報収集や関係作りをすることが出来ている。また、利用者間の関係が築き易くなるように、座席配置の工夫をすることが出来ている。
- ・早く環境に馴染んで頂けるように、職員間で配慮をすることが出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・急遽新規が決まったり、出入りが多かったことで、事前に担当を決めることが出来なかった。
- ・情報の共有の際に申し送りが抜けることがあり、漏れがあった。
- ・担当職員の割り当てについては、リーダー職員がメインで行っており、勤務体制上タイムラグが生じている。
- ・初期支援の段階では情報が少ない場合がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・日々の関わりから情報収集を図り、その情報を日々のミーティングの中で漏れなく共有することで、ニーズに沿ったケアを展開できるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 22 日 (18:00~19:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		5 人	5 人		10 人

前回の改善計画	・日頃の関わりから、ご本人・ご家族から昔からの好きなこと、どんな生活を送っていたかなどの生活歴・趣味などの情報収集を行うことで、分け隔てなく、要望・希望を叶えることが出来るように対応をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日々の関わりから趣味や生活歴の把握に努め、ミーティングを活用することで情報を共有することが出来ている。実際に実践を行い、要望を叶えることが出来たケースもあったが、分け隔てなくという部分については、職員が明確に把握をしていないこともあり難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		1 人	9 人		10 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6 人	4 人		10 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4 人	6 人		10 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1 人	7 人	2 人		10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・送迎や通院同行の場面を利用して生活歴や趣味のお話しをすることが出来ている。 ・本人の要望をミーティング内で共有をすることが出来ている。 ・本人の意向を個別レクで実践をすることが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々の業務優先になっており、そこまで介入をすることが出来ていない。 ・本人の目標が分からない。要望があっても、条件や金銭面の理由で対応をすることが出来ない。 ・対象者が 29 名という中で目標を把握して実践をすることが難しい。 ・自分の担当の利用者や、課題の多い利用者にも目を向けがちになり、分け隔てなく関わる事が出来ない。 ・担当以外の利用者の目標を把握することが出来ていない。 ・本人の目標が明確でない場合もあり、全員の要望や希望を叶えることが出来ていない。 ・関わる頻度が少なく、目標を把握することが難しい場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・日々の関わりから情報収集を行い、登録者全員の目標や意向を把握する。また、出来る部分については実践をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 22 日 (18:00~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者(1名)看護師(1名)介護職員(8名)

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	2人	3人	1人	10人

前回の改善計画	・夜勤者から日直者への申し送りの際に、出来るだけ日勤者も参加をすることで、事業所内での統一した情報の共有を図り、ケアに活かしていく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・夕方にミーティングの時間を設けたことで、以前より職員間の情報共有をスムーズに図ることができ、実際のケアに活かすことが出来ている。しかし、早上がりの職員や送迎の戻りが遅い職員は、ミーティングに参加をすることが出来ないこともあるため、その部分については今後の課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			7人	3人	10人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5人	5人	人		10人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	8人	1人		10人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7人	3人			10人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5人	5人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・気付いたことがあった場合は、すぐに相談をして対応をすることが出来ている。 ・本人の体調や気持ちの変化についてもミーティングを活用することで、以前より共有をしやすい。 ・ミーティング時に利用者の様子を話し合い、支援の計画に役立てることが出来ている。 ・送迎や訪問時に生活環境の把握をすることが出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・他の業務に携わっていることがあり、申し送りに参加をすることが出来ないときがある。 ・本人に聞いても曖昧な場合があり、以前の暮らしについても29名は人数が多く把握しづらい。 ・早上がりの職員や、送迎で遅く戻った職員への申し送りはあまり出来ていない。 ・送迎時間の兼ね合いがあり、夜勤者から日勤者への申し送りに参加が出来ない現状がある ・職員の意識の部分で以前の暮らし方の10個以上の把握が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・アセスメントの視点を養うことで、利用者個々の生活環境の把握や課題を抽出することで、日常生活の支援に役立てていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 8 月 22 日 (18:00~19:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		3 人	7 人		10 人

前回の改善計画	・ご本人・ご家族との日々の関わりから知人・友人との関わり、これまでの生活スタイルの把握に努める。また、事業所が直接接していない時間帯の生活状況の把握にも努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご本人やご家族から現在の生活スタイルの情報を得ることは出来ているが、事業所が直接関与していない生活状況の把握については、情報量が少なく把握できていない部分があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5 人	5 人		10 人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4 人	6 人		10 人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4 人	5 人	1 人	10 人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1 人	6 人	3 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・家族と情報共有をすることで、困ったことがあった際には相談をして頂いている。 ・本人や家族から生活スタイルなどの情報を聞き、理解出来ている点が多いと思う。 ・家族と関わる際は積極的に話しかけて関係を構築して聞きやすい状況を作れている。 ・家族との連携は、送迎や電話、連絡帳を活用することで出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・通所を利用しておらず、サービス量が少ない方の自宅の生活状況を把握することが出来ていない。 ・登録者 29 名全ての生活状況を把握するためのアプローチを一步踏み込んですることが出来ていない。 ・最低限、サービス介入に必要な情報は得ることができているが、知人・友人といった部分までの情報収集が出来ていない。また、地域との関係性まで把握することが出来ていない。 ・現在の施設内の状況や人間関係を最重視しているため、自宅での生活状況の把握や地域との関連性にまで踏み込んで情報収集をすることが出来ていない。 ・社会資源を把握していない。また、通所以外の視点という部分が自分の中で浸透をしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・事業所が直接接していない時間帯の暮らしや生活範囲、生活スタイルを把握することで、利用者の自宅での生活状況全般の理解や課題の抽出に繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 8 月 22 日 (18:00~19:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	管理者 (1名) 看護師 (1名) 介護職員 (8名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人			10 人

前回の改善計画	・事業所体制を見直すことで、利用者の生活状況に合わせた（安否確認・内服確認）を実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・概ね利用者の生活状況に合わせてサービス提供を実践することが出来ているが、現在の登録状況上、日勤帯に職員を手厚く配置している現状もあり、朝早い時間帯や夜遅い時間帯の訪問サービスの依頼があった場合は対応することが難しい現状がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3 人	4 人	2 人	1 人	10 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7 人	3 人			10 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7 人	3 人			10 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7 人	1 人	2 人		10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・夕方のミーティングで、利用者の変化について、職員間で共有をすることが出来ており、柔軟な支援に繋がっている。 ・ご本人やご家族の要望に合わせてサービス調整をすることが出来ている。 ・地域包括や病院との連携を行うことが出来ており、また事業所だけで補えない部分については、訪問看護などのサービス調整をすることで行うことが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・社会資源に関しては、現在も CM 任せで介護員から提案をすることが出来ていない。 ・地域の資源について、学ぶ機会がないし、自分からも学ぼうとしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・事業所として柔軟なサービス提供を実践出来るように社会資源の理解を深める。また、介護職員の社会資源の理解に繋がるように、社会資源用ファイルの作成を行い、事業所に保管をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 8 月 22 日 (18:00~19:30)
6. 連携・協働	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	2 人	4 人	3 人	10 人

前回の改善計画	地域行事の情報把握に努め、意図的に勤務調整をすることで地域行事の参加を促す。また、菊水こまちの郷としても、近隣住民と交流が出来るような企画を検討する。
前回の改善計画に対する取り組み結果	事業所として地域の年間行事の把握をすることは出来ているが、介護職員まで浸透していない現状がある。地域行事の参加については、勤務調整を行い、出来る範囲で町内の夏祭りやゴミ拾いに参加をしている。また、今年度からこまちテラス (認知症カフェ) を実践・町内会の会議に参加をすることで、少しずつではあるが、地域住民との関わりが増えてきている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		1 人	3 人	6 人	10 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1 人		9 人	10 人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1 人	1 人	8 人	10 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		4 人	3 人	3 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 担当者会議を通じて、その他のサービス機関と連携を図っている。 - 幼稚園児との交流会があり、そのときは子供が事業所に訪れている。 - 今年度より、こまちテラス (認知症カフェ) が始動したことにより、登録者以外の高齢者や近隣住民の方が事業所に訪れることが増えてきている。 - 地域包括支援センターから依頼があった際に地域ケア会議に参加をしている。事例提供も行っている。 - 今年から地域交流スペースで町内会の会議を実施しており参加をしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 地域行事が、いつあるのか把握出来ていない。 - 町内会との関わり、地域包括支援センターとの会議など、外部との関わりについては、管理者がメインで対応しているため、介護職員は携わる機会が少ない - 事業所としては、地域の活動 (町内のゴミ拾い・お祭り) に参加をしているが、勤務体制上、介護職員の参加は難しく、事務所職員メインの対応となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
近隣住民との関わりのきっかけとなるように、こまちテラス (認知症カフェ) に介護職員や利用者も参加をする。また、会議や地域行事についても、出来る範囲で介護職員が参加出来るようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 22 日 (18:00~19:30)

7. 運営

メンバー 管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2 人	5 人	3 人	10 人

前回の改善計画	運営推進会議の場を活用することで、地域の実情の把握に努め、菊水こまちの郷として、地域と協働して出来ることを検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議をきっかけに町内会の現状把握に繋げることが出来ている。今年度から、地域交流スペースを町内会議の場として利用頂くことも出来ており、菊水こまちの郷としても、町内会の役員会議に定期的に参加をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1 人	2 人	5 人	2 人	10 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3 人	5 人	1 人	1 人	10 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3 人	3 人	2 人	2 人	10 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2 人	4 人	4 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 過去の苦情についての対策は継続して行うことが出来ている。また、苦情にも迅速に対応をすることが出来ている。 - 意見を言い易い環境であり、出来るだけ伝えるようにしている。 - 要望や苦情があった際には書面に残し、職員間で情報共有を図り、再発防止に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 地域の拠点になる為の、具体的な取り組み方法が分からない。 - 地域との協働した取り組みという部分で、地域とどのように関われば良いのか分からない。 - 事業所の在り方について、意見を言う職員に偏りがあるように感じられる。発言する機会があっても、言いにくい環境があるのかもしれない。 - 勤務して間もないため、意見を言うレベルではないと感じたり、日々の業務を覚えることが精一杯で意見を言えない現状がある。 - 自分に余裕が無く、自分からより良い環境作りに向けた話し合いや提案が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
町内会の活動に参加をすることで、地域と協働して出来ることを模索していく。サービスの質の向上や働き易い環境作りに繋げることが出来るように、何か気になった事柄や意見があった場合は、日々のミーティングや職員面談の中で提案をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 8 月 22 日 (18:00~19:30)
8. 質を向上するための取り組み	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		4 人	5 人	1 人	10 人

前回の改善計画	・事業所として外部研修の情報提示・個々に適した研修があった場合は、個別面談の中で参加を呼び掛けていく。また、地域連絡会に事業所として積極的に関わっていく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・地域連絡会については、地域包括センターから地域ケア会議の出席や見える事例検討会の事例提供の依頼があった場合には参加をすることは出来ているが、数としては少ない状況であり、主に管理者が主体となっており対応している状況である。研修参加については、事業所内への研修情報の掲示、個々の研修計画の作成を行い、計画的に研修参加をすることで、個々のスキルアップに繋げることが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4 人	4 人	1 人	1 人	10 人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3 人	1 人	3 人	3 人	10 人
③ 地域連絡会に参加していますか		1 人		9 人	10 人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	2 人	2 人	4 人	2 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・積極的に内部研修には参加をすることが出来ている。 ・事業所としては月 1 回程度外部研修へ参加出来ている。 ・リスクマネジメントについては、ひやりはっと、インシデント、研修などで意識の向上に努めている。 ・研修の情報が提示されることが多く、興味深い研修にはなるべく参加している。 ・リスクマネジメントは常に心掛けている。 ・法人として、実務者研修を助成しており、介護福祉士の資格取得の応援をすることが出来ている。 ・資格取得のための、長期休暇希望についても、協力をすることが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・過去に地域ケア会議は 2 度出席をしたことがあるが、声が掛かる機会も少ないため、なかなか参加をする機会がない。 ・地域連絡会というものが、どういうものか分からない。 ・地域連絡会には管理者のみ参加し、介護職員が参加するといったことがない。 ・子供が小さく、時間の都合がつかないため、内部研修に参加をすることが出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域連絡会の意味合いを事業所内で確認を行い、依頼があった場合は、出来るだけ介護職員も含めて参加するようにする。事業所として個々の研修計画の作成や情報提示、個人として興味のある研修に積極的に参加をしていくことで、サービスの質の向上を目指していく。ひやりはっとやインシデントを積極的に提出していくことで、リスクマネジメントに対する意識向上を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 8 月 22 日 (18:00～19:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	2 人	人	10 人

前回の改善計画	・個人ファイルの保管に注意をする。また、記録途中で介助に入る際は、閉じるなどの配慮を行う。 ・口頭での申し送りの際は、温度板を活用することで実名を伏せて対応をする。また、声のトーンにも配慮をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・記録や個人情報の取り扱い、以前より改善をされているが、現在も業務に追われることで、ファイルの閉じ忘れが見られることがある。申し送りの際は、声のトーンや実名を伏せて行うことでプライバシーに配慮することは出来ているが、申し送り以外の場面では、他利用者に聴こえてしまう声のトーンで話すことがあり、配慮に欠けることがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10 人				10 人
②	虐待は行われていない	10 人				10 人
③	プライバシーが守られている		9 人	1 人		10 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している		5 人	3 人	2 人	10 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3 人	7 人			10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・申し送りの際は声を小さくして、本人がいる場合は名前を出さないようにしている。また、温度版などに記載している文字を活用することでプライバシーに配慮している。 ・身体拘束や虐待は行われていない。 ・記録や個人情報の取り扱いは、以前より改善出来ていると思う。 ・経過記録などは、PCのロック機能を用いて、短時間でロックがかかるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・排便チェック表やファイルなど、何度も使用するものは忙しい時に伏せるのを忘れてしまう。 ・トイレへの声掛けのときの、声のトーンが気になることがある。 ・申し送り以外で利用者本人がいない場合、他利用者に聴こえてしまう声のトーンで話していることがある。 ・4～5 人で送りをする場合、温度版を活用することが難しく、実名を使用することがある。 ・予定の確認や記入を忘れないようにするため、申し送りノートを開いたままにすることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・日常的な業務の中、職員間で情報を伝達する場合、個人情報他利用者へ聴こえないように、声のトーンや場所に配慮をして対応をする。また、業務中に個人情報が記載されたファイルを使用している場合に席を外す場合は、1 度片付けて対応をする。	